

# 事例15 接続中期—1 ゆきだるま 夏にはとける

2月

保育所（園）・幼稚園

事例を通して	育みたい資質・能力	<p><b>【知識及び技能の基礎】</b> 文字や数量に興味や関心をもち、遊びに必要な言葉や文字を理解し使うようになる。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等の基礎】</b> 友達の様々な考えに触れる中で、自分の思いや考えを整理したり考え直したりして、新しい思いや考えを生み出す喜びや楽しさを味わう。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 共通の目的に向かって協力したり分担したりしながら達成しようとする。</p>
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びや生活の流れに見通しをもち、自分たちで取り組む。<b>【健康】</b></li> <li>・共通の目的に向かって役割を分担したり協力したりし充実感を味わう。<b>【人間関係】</b></li> <li>・必要感に基づいて読もうとしたり書こうとしたりする。<b>【環境】</b></li> <li>・相手に分かるように話し、互いの思いや考えを伝え合おうとする。<b>【言葉】</b></li> <li>・これまでの経験を生かして、友達と工夫して表現することを楽しむ。<b>【表現】</b></li> </ul>



ねらい カルタづくりを通して、自分なりの思いや考えを巡らせ工夫して表現しようとする。	
遊びや活動の実際 C：幼児の活動 T：先生の言葉かけや関わり ★：援助する上での留意点	幼児の姿から捉えられる 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿
<p><b>&lt;遊びや活動の経過&gt;</b> 幼児たちはカルタとりで、読み手を交代したり取った札の数を競い合ったりしながら繰り返し遊びを楽しんでいる。また、教師が作った俳句絵本『たんぼぼぐみ』を見て、調子よい言葉のリズムや言葉と絵の関係性に気付き面白がって自分でもリズムカルな言葉をつくり出すようになっていく。「たんぼぼぐみカルタ」をつくって、年中組に遊んでもらいたい気持ちも高まっている。遊ぶためには50音の読み札と絵札が必要になる。自分一人ではできないが、学級の皆で50音を分担したらできるという幼児なりの見通しのもと、制作が始まる。</p>	
<p><b>&lt;ぼくは“ゆ”を書く！&gt;</b> C：僕，“ゆ”がいい！“雪だるま”の“ゆ”にする。 ★：カルタとりやしりとり等の遊びの経験を生かしながら、文字と文字に関わる単語を思い付いている姿を認める。 <b>&lt;夏だったら絶対、雪はとけるよ&gt;</b> C：雪だるま…えーと、雪だるま… C：“ゆきだるま はるに とける”にしたら？ C：いいね。いいね。 C：僕は，“ゆきだるま なつに とける”が、いいと思う。 C：夏じゃなくても、雪はもう春になったらとけるよ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ゆ」→「ゆきだるま」と、言葉と同時に絵を想像し、思いを巡らしながら自分なりに判断している。</li> </ul> <p><b>【思考力の芽生え】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の意見も聞いて考えながら、「雪」に対する自分なりの考えや捉え方を整理している。自分が感じる自然の変化や不思議さを相手に分かるように</li> </ul>



C：でも、春はまだ寒いときもあるよ。夏だったら絶対に雪はとけるよ。

<「なつに とける」より「なつには とける」>

C：僕も、夏だったら絶対、雪はとけると思う。だから、春じゃなくて夏にする。

C：(指を折りながら)「夏にとける、夏にとける」「夏にはとける、夏にはとける」。「夏にはとける」にしよう。

T：「夏にとける」じゃなくて「夏にはとける」にしたのね。

C：何回も言ってみたら何だか変で、夏に「は」って言ってみたら、調子がよかったから。

T：先生も言ってみよう。(両方言ってみる)

ほんとだね。「夏にはとける」の方が調子がいいね。

★：友達の意見も受け入れながら自分が納得のいくまで考えようとする姿を捉え、価値付けする。

<“ランドセル”には これもかいておこう>

C：私は“ら”だから“らんどせる きれいな かいたいな”ってした。紫のランドセルが欲しいな。でもランドセルって、どうかいたらいいのかなあ。

C：『がっこうかるた』の入れ物がランドセルの絵だったよ！

C：あっ、そうだったね！（と言って急いで取りに行く）

C：教えてくれてありがとう。これを見て、かこう。

C：学校は鉛筆も使うよ。私ね、筆箱も買ってもらった。

C：筆箱と鉛筆と消しゴムもかこう。

C：ノートもあるよ。ノートもかく？

C：私のお姉ちゃんは、国語とか算数とかの教科書も持っていくよ。ランドセルの中には色々入っているよ。

★：“ランドセル”という言葉から、学校生活のイメージを言葉で伝え合っている。ランドセルを通した幼児たちの入学への期待感や喜びを教師も共有していく。

C：皆の分ができたらさくら組さんと一緒にしたいね。

C：早くさくら組さん、呼びたいね。

言葉などで表し伝えている。

【言葉による伝え合い】

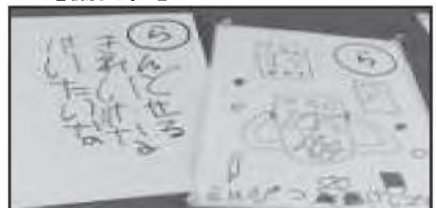
- ・友達の様々な考えに触れる中で、自分なりに判断したり考え直したりなどして、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、よりよいものになっている。

【思考力の芽生え】



- ・友達同士の関わりが深まる中で、相手の思いや考えなどを共有し、協力する充実感を味わいながらやり遂げようとする。

【協同性】



- ・ランドセルという言葉から思いを膨らませ様々な表現を楽しむ感じたり考えたりしている。

【豊かな感性と表現】



考察

○実践のように、友達の様々な考えに触れる場があることで、自分の考えや思いを整理したり伝え合ったりし、思いが深まりカルタに表わそうとする姿が見られた。

○実践のように、目的に向かってつくり上げる経験は、根気よさが身に付いたり、小学校入学への期待感を共有しながら遊びを進めていったりする姿や、年長組としての自覚や達成感、充実感を味わうことにつながっていくことが分かった。

●実践のような姿は、小学校の学級での集団生活の中で、目的に向かって自分の力を発揮しながら友達と協力し、様々な意見を交わす中で新しい考えを生み出しながら工夫して取り組んだりするなど、協力して生活したり学び合ったりする姿につながっていく。


# 事例16 接続中期-1 どんなお店に しようかな

2月

保育所(園)・幼稚園

事例を通して	育みたい資質・能力	<p><b>【知識及び技能の基礎】</b> 様々な体験の中から、お互いの気付き、発見を言葉にして伝えるようになる。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等の基礎】</b> 友達の様々な考えに触れ、自ら判断し考え直すなどし、新しい思いや考えを生み出す。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 友達と意見を出し合いながら、協力して遊びを進める楽しさを味わおうとする。</p>
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団の生活や場の使い方などの状況を予測して準備し片付ける。<b>【健康】</b></li> <li>・友達との関わりを通して、互いの思いや考えのよさに気付き、協力して遊ぶ。<b>【人間関係】</b></li> <li>・遊びの中で数量、図形、文字に関心をもつ。<b>【環境】</b></li> <li>・思いや考えを相手に分かるように話し相手の話も聞いて理解しようとする。<b>【言葉】</b></li> <li>・共通のイメージをもち遊びに必要なものを工夫してつくることを楽しむ。<b>【表現】</b></li> </ul>



<p>ねらい お店をよりよくするために、友達と思いや考えを出し合い工夫しながら共通の目的に向かって協力する。</p>	
<p><b>遊びや活動の実際</b> C：幼児の活動 T：先生の言葉かけや関わり ★：援助する上での留意点</p>	<p>幼児の姿から捉えられる 幼児期の終わりまでに育て ほしい姿</p>
<p><b>&lt;遊びや活動の経過&gt;</b> 市場探検や魚の解体ショーを体験したことで、お店へのイメージが膨らみ、年長児が中心となって行う園のお店ごっこへの意欲が高まる。これまでのお店ごっこの経験から、小学校の国語の授業「ものの名まえ」見学で、お店の品物づくりを「カード」で行うことに驚きと新鮮さを感じたようである。園に帰る途中で「絵カードをつくって、やってみたい」という発言が聞かれる。</p>	
<p><b>&lt;どんなお店があったかな&gt;</b> T：「僕たちも、カードにかいてお店をしたい。」って言ってたね。クラスでもやってみる。 C：いいね。先生。してみたい。 T：市場探検や園のお店ごっこで、どんなお店があった？ どんなふうに品物が並べられていたかな。 C：おもちゃ屋。お花屋。八百屋。 C：みかんは、かごに山盛り入っていたよ。 C：魚屋は、魚をきれいに並べていたよ。</p> <p><b>&lt;どんなお店がしたい？&gt;</b> T：たくさんお店があったけど、どんなお店屋がしたい。 C：ランドセル屋。ドレス屋。ケーキ屋。 C：フルーツ屋。野菜屋。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活経験から思い出したことや気付いたことを具体的に分かりやすく伝えている。<b>【言葉による伝え合い】</b></li> <li>・お店やさんごっこという目的に向かい、友達と思いを共有し協力してやり遂げようとしている。<b>【協同性】</b></li> </ul>
	



T：皆，よく考えたね。28種類のお店屋が出たよ。

### <お店を仲間分けしよう>

T：たくさん出たお店を，同じ仲間に分けてみよう。ドレスは？

C：人が着るから洋服屋に入るね。

C：靴屋と靴下屋も人がはくから洋服屋。

C：テレビ屋とパソコン屋は，電気屋になる。

C：果物屋と野菜屋は一緒。野菜屋でも果物を売ってるからね。

★：先生が「いいね」「そうそう」「先生もそう思った」「すごいね」等，一人一人の思いや考えを認めることで，自分のよさを発揮でき，活発な発言につながるようにする。

### <友達と一緒に品物の絵カードをつくろう>

★：幼児が経験したことのある材料や用具を準備し，自ら必要な物を選び，活用できるようにする。

C：絵や数字を書いて，絵本をつくろう。

C：いいね！たくさんかいたら，綴じるよ。

C：色んな味のケーキをかこう。

C：私，イチゴケーキが好きだから，かくな。

C：お店だから，お金もいるよ。

C：私が丸い形の5円や10円をつくるね。丸を切るのが上手なAちゃんが切って。

C：分かった。じゃあ切るね。どんだん丸をかいて。

C：お金をつくったら，僕を呼んで。お金を集める。

C：今度は，なんでもカードやポイントカードをつくろう。

C：カードは英語が書いてあるよね。

★：売り買いの時に，お金も必要なことに気付き，話し合いで役割分担を決めるなど，作業が進むにつれ，新しい役割やアイデアが生まれる様子を見守り，必要に応じて助言，援助する。

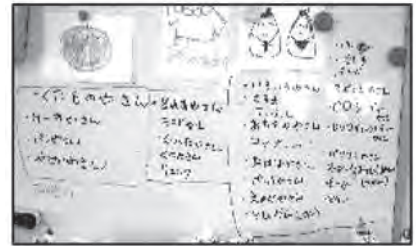
### <続きは，後で>

C：あっもうすぐ，長い針が5になるから片付けるよ。

T：よく気付いたね。続きができるように片付けよう。

C：分かった，次は，もっとたくさん品物の絵をかいて，たくさん売るよ。

・自分の考えを相手に伝え，相手の意見も聞きながら話し合う。【言葉による伝え合い】

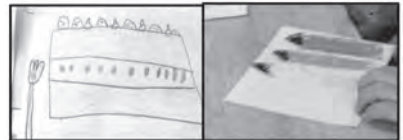


・個々のよさを発揮し工夫したり，協力したりする楽しさや充実感を味わっている。

### 【協同性】



・経験した素材や用具を使い，友達と相談しながら，つくっている。【豊かな感性と表現】



・文字や数，量に関心をもち，役割分担してお金などをつくっている。【数量や図形，標識や文字等への関心感覚】



## 考 察

○実践のように，互いの思いや考えを出し合う活動を行ったことは，お店屋のイメージがより具体的になり，目的がはっきりするとともに，楽しさや充実感を味わいながら，お店屋をよりよくしようと工夫したり協力したりする姿につながる事が分かった。

○実践のように，お店屋さんごっこの経験は，様々な考えに触れる中で自ら判断したり，考え直したり，分担して作業したりする姿につながる事が分かった。

●実践のような姿は，小学校生活において教師や友達と協力して生活したり学び合ったりする姿へとつながっていく。


# 事例17 接続中期-1 みんなで卒園制作をつくろう

2月

保育所(園)・幼稚園

事例を通して	育みたい資質・能力	<p><b>【知識及び技能の基礎】</b> 互いの考えや思いを伝え合うことで、様々な表現の面白さに気付きかくことを楽しむようになる。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等の基礎】</b> 友達と意見を出し合いながら、協力して遊びを進める楽しさを味わう。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 共通の目的をもって話し合い、皆の考えをまとめ役割分担をして協力し、卒園制作に向けて力を発揮しやり遂げようとする。</p>
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団の生活や場の使い方などの状況を予測して準備し片付ける。【健康】</li> <li>・目標に向かって自分の役割をもち、友達と協力してやり遂げる。【人間関係】</li> <li>・小学校に関心をもったり、入学への期待をもったりする。【環境】</li> <li>・思いや考えを相手に分かるように話し相手の話も聞いて理解しようとする。【言葉】</li> <li>・かき方について話し合い、工夫したり考え直したりしながら最後までやり遂げる。【表現】</li> </ul>



ねらい 卒園記念の壁面づくりという共通の目的をもち、話し合ったり、皆の考えをまとめた り、役割分担をしたりしながら、クラス全体で制作することを楽しむ。	
遊びや活動の実際 C：幼児の活動 T：先生の言葉かけや関わり ★：援助する上での留意点	幼児の姿から捉えられる 幼児期の終わりまでに育って ほしい姿
<p><b>&lt;遊びや活動の経過&gt;</b> 卒園や入学することへの喜びや期待が高まってきた。お世話になった園に感謝の気持ちを伝えるため卒園制作をしようとして提案したことがきっかけになり、制作について話し合う。子どもたちは皆で協力して作り上げた生活発表会の劇が印象深かったようで、運動場の壁に絵をかこうという意見が多く聞かれる。</p>	
<p><b>&lt;どんな絵にしようかな&gt;</b> T：保育園の壁面に、皆で力を合わせて絵をかくことになったよね。去年の年長さんもつくったけど、皆はどんな絵にする。 C：私たちは生活発表会でした「オズの魔法使い」をかくよ。 C：私、ライオンの役をした。 C：僕は魔法使いの役。 C：私、ドロシー。 C：いろいろな役の絵がかけるね。 T：みんながかいた絵を集めて、一つの絵にするよ。 C：どんな絵になるか楽しみ。 ★：どんな絵をかいたらよいかイメージできるように、生活発</p>	<p>・自分の役を振り返り、何の絵をかきたいかを確かめ合っている。【言葉による伝え合い】</p>  <p>・経験したことや考えたことなどを相手に分かるように言葉で伝えている。</p>

表会での様子を幼児と一緒に振り返り、皆で一つの壁面を制作することを伝える。

<じょうず，じょうず>

C：ドロシーは，ロボットとライオンと一緒にいたね。

C：ロボットの帽子は三角だったよね。

C：そう。三角よ。もうちょっと，とがっていたよ。

C：靴の先もとがっていたよ。もうちょっと長かったかな。

C：マントを，着ていたけど何色。

C：茶色かな，いや赤だった。

C：門番は青い服を着ているよ。これでいいかな。

★：生活発表会での体験を幼児同士で言葉にして伝え合い，壁面画の共通イメージにつながるように援助する。

C：ロボットの絵を見せて。じょうず，じょうず。

T：何色で塗ろうかと迷っていた友達に教えたり，友達の絵を見て「じょうず」と褒めたりしているね。

T：門番や魔法使いの動きが分かるようにかいているね。

C：魔法使いがライオンに命令しているところがよく分かる。

C：門番が「入るな！」と，立っているところだね。

<みんなの絵を合わせてみよう>

T：みんなそれぞれ絵がかけましたね。

C：先生，皆の絵を合わせてみよう。

C：どこに置いたらいいかな。

C：ドロシーとロボットは，近くがいいね。

C：僕は門番を描いたけど，お城がないよ。

C：お城もかかないとだめだよ。

★：必要感から出てきた意見を拾い上げ，共通の目的に向かって話し合いが進むように援助する。

C：道とか花とかかくと楽しいよね。

<卒園制作完成！>

C：すごい。

C：やったあ。

C：かっこいい。



【言葉による伝え合い】



・友達同士でお互いの絵の表現のよいところを認め，自分も工夫してかこうとしている。

【豊かな感性と表現】



・卒園制作という共通の目的の実現に向けて，考えたことを伝え合い，充実感をもってやり遂げようとしている。

【協同性】

考  
察

○実践のように，互いの思いや考えに気付き，相手の気持ちを理解しようとしたり，相手に分かるように伝えたりする姿や，友達と協力して完成させることの楽しさや充実感を味わったりすることにつながることが分かった。

○実践のように，自分たちの遊びや生活を振り返りながら卒園記念制作を行うことは，卒園に対する思いを深めるとともに，身近な人への感謝の気持ちと入学への喜びや期待を高めることにもつながることが分かった。

●実践のような姿は，小学校の学習において感性を働かせ，表現することを楽しむ姿などにつながっていく。




# 事例18 接続中期—1 もうすぐ 1年生

3月

保育所(園)・幼稚園

事例を通して	育みたい資質・能力	<p><b>【知識及び技能の基礎】</b> 一年生になる喜びや期待をもち、自分たちの成長を感じるようになる。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等の基礎】</b> 学級やグループの友達と共通の目的や見通しをもち、分担し合ったり、協力し合ったりして遊びや生活を進める。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 少し難しいことでも最後まであきらめずにやり遂げようとし、達成感を味わおうとする。</p>
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの生活に必要な行動に見通しをもち、自主的に取り組む。<b>【健康】</b></li> <li>・修了に関わる活動を通して、自分の成長を感じる。<b>【人間関係】</b></li> <li>・人の話を注意して聞いたり、自分の気持ちや考えを言葉で伝えたりする。<b>【言葉】</b></li> <li>・修了に関わる活動の中で友達と一緒に考えを出し合い工夫して表現する。<b>【表現】</b></li> </ul>



<p>ねらい 小学校への期待感や修了証書授与式までの見通しをもち、進んで行動し、充実感を味わう。</p>	
<p>遊びや活動の実際 C：幼児の活動 T：先生の言葉かけや関わり ★：援助する上での留意点</p>	<p>幼児の姿から捉えられる 幼児期の終わりまでに育て ほしい姿</p>
<p>&lt;遊びや活動の経過&gt;</p> <p>子どもたちは、1日の生活に見通しをもち、自分たちでしなければならないことを自覚し、友達同士で誘い合って行うようになってきている。また、年長組の行動を見ている年下の幼児に「きりんぐみさんって、かっこいい」「すごい」と言われることで、自分自身の成長に気付き、自信をもって行動するようになってきている。自分たちの修了証書授与式まで、あと10日となった1日の活動である。</p>	
<p>&lt;園長先生、おはようございます&gt;</p> <p>★：通用門での朝の出会い、異年齢交流の場であり、年長児の様子に刺激を受けて、異年齢の幼児同士が育ち合う場であることを踏まえた言葉かけをしていく。</p> <p>C：(A兄) 園長先生、おはようございます。(礼)</p> <p>C：(B弟) 園長先生、おはようございます。(礼)</p> <p>T：おはようございます。Bちゃんは、お兄ちゃんと毎日一緒に来れてよかったね。お兄ちゃんみたいに元気な気持ちのよい挨拶ができるようになりました。Aさんはお兄ちゃん先生だったね。</p> <p>★：年下の幼児に思いやりをもって関わり自分が進んで挨拶することで、挨拶の仕方や大切さ、気持ちよさが伝わるように行動している姿を認め自身の成長に気付くようにする。</p>	<p>・自分から気持ちのよい挨拶をし、園生活の充実感や満足感が年長児らしい行動となって表れている。</p> <p><b>【健康な心と体】</b></p>  <p>・自分の行動を通して年下の幼児に気持ちのよい挨拶を伝えている。</p>

＜今日は 先にしてから 遊ぼう＞

C：ねえ、今日は先に掃除をしてから遊ぼう。

C：今から？もう、皆来ているのかな。

C：靴箱をみて、確かめてくるね。

靴が全部あるよ。もう、皆来ているよ。

C：じゃあ、靴箱掃除を先にしよう。

C：いいよ。終わったら、昨日の続きをして遊ぼうね。

★：係活動に必要な道具を取りに行き、場所を分担したり道具を巧みに使ったりして、手早く掃除をしている。日々の活動の積み重ねで自信をもって行う積極性を認めていく。

＜みんなで 分かれて拭こう＞

C：床拭き掃除の時間になったよ。(それぞれ自分の雑巾を持ちぬらし、絞り、拭き始める)

C：そこは、もう僕が拭いたよ。よし、もう終わりにしよう。

C：でも、まだ拭いてないところがあるよ。

C：どこどこ。

C：横から見て。ほら、まだ白いところがあるでしょ。あそこらへんが拭いてないところだよ。

C：じゃあ、白いところを皆で探して分かれて拭こう。

C：うん。分かれて拭こう。その方が早いね。

★：友達の気付きや提案を自分でも確かめたり、掃除のやり方を共有したりしながら、隙間なく掃除をするために協力して進めようとしている姿を価値付けていく。

＜緊張するけど 僕、頑張ろう＞

T：自分で決めた「今日、頑張ること」を、お隣の人に話してみましよう。そして、頑張ってやってみましようね。

C：私は、「はい」の返事を大きな声でする。

C：僕は、あわてて歩かない。ゆっくりかっこよく歩く。

C：私は、聞くときは、お話をする人の目を見る。

C：(年中児) 年長組さん、なんか、かっこいいね。

C：今日うさぎ組さんが見に来ている。ドキドキするね。

C：緊張するけど、頑張ろう。

★：一人一人が「頑張ること」を考えて行おうとし、自分でやり抜いたときを捉えて認め励ますことで、自信をもった行動につながるようにする。

【道徳性・規範意識の芽生え】

- ・自分たちの生活に必要な行動に見通しをもち、自立的に取り組んでいる。

【健康な心と体】



- ・学級の皆で目的を共有し、協力してやり遂げる充実感を味わっている。

【協同性】



- ・自分の思いを伝えたり、共感し合ったりしながら、自分たちの頑張りに気付き、緊張感の中でも自信をもって行動しようとしている。

【自立心】



考  
察

○実践のように、異年齢の幼児を意識させ、修了という節目を様々な場面で感じ取らせることで、年長児として頑張るという自覚と行動が生まれてくるのが分かった。

●実践のような姿は、小学校生活において、自分でできることは自分でしようと積極的に取り組む姿や、生活や学習での課題を自分のこととして受け止めて意欲的に取り組む姿など、日々の生活が楽しく充実することにつながっていく。